

2021 年度事業計画

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

I 基本方針

1. 民藝美の概念と価値を普及し地域の生活文化の向上に寄与する。
 - ・当館の特性を活かし、優れた館蔵品等を活用して、質の高い展覧会を開催する。
 - ・館蔵品等の貸与や民藝に関する情報提供を通じて、国内外地域との文化交流を図る。
2. 民藝品の普及と啓蒙活動の推進とその製作にかかわる工人の育成に貢献する。
3. 展示室や収蔵庫の環境整備をはじめ、民藝に関する資料や情報のアーカイブ化を推進し次代に継承する。
4. 我が国の文化史上重要な建物として東京都指定有形文化財に指定された日本民藝館本館及び西館を維持管理し、その活用を図りながら文化の発展に寄与する。

II 事業

1、展示活動及び調査研究と情報収集・提供に関する事業

1) 2021 年度開催の展覧会

- ・日本民藝館改修記念 名品展 I - 朝鮮陶磁・木喰仏・沖縄染織などを一堂に

会期：2021 年 4 月 4 日（日）～ 6 月 27 日（日） 73 日間

- ・日本民藝館改修記念 名品展 II - 近代工芸の巨匠たち

会期：2021 年 7 月 6 日（火）～ 9 月 23 日（木） 69 日間

- ・棟方志功と東北の民藝

会期：2021 年 10 月 1 日（金）～11 月 23 日（火） 46 日間

- ・日本民藝館展 - 新作工藝公募展 -

会期：2021 年 12 月 11 日（土）～12 月 24 日（金） 12 日間

公募作品の審査・表彰及び分野別講評会の実施

- ・美の標準 - 柳宗悦の眼による創作

会期：2022 年 1 月 10 日（日）～3 月 21 日（日） 61 日間

- ・展覧会記念講演

*各展覧会の記念講演は、社会情勢に合わせ対面又はリモートによる講演会を企画する。

2) 調査・研究及び情報収集・提供に関する事業

- ・所蔵品の調査・研究を基にした情報を整理し、展覧会等に供する。

- ・Web サイトにて展覧会に関わる情報を随時提供する。

3) 資料・文献などの保存管理と活用

- ・所蔵品の保存状態を定期的に点検し、防虫防菌処理や修復が必要な場合には適宜措置を施す。

- ・文献資料・図書類のデータベースのデータ更新を継続する。

2. 民藝の普及・振興に関する事業

- 1) 各地美術館及び他民藝館への所蔵品の貸与及び共同企画への参画

- ・館所蔵品等の国内外の美術館・企業等への貸出や、共同企画展への参加を通して民藝の普及を行う。

① 東京国立近代美術館

展覧会名「柳宗悦と民藝の100年」

会期：2021年10月～2022年1月

主催：東京国立近代美術館、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社

② 無印良品 銀座 ATELIER MUJI GINZA

展覧会名「民藝—生活美のかたち」

会期：2021年3月19日～5月9日

主催：良品計画

*2021年度下半期に大阪・岡山・福岡での開催を予定

③ 豊田市民芸館

展覧会名「柳宗悦と民藝運動の作家たち」

会期：2021年10月26日～1月30日

主催：豊田市民芸館

2) 出版などのメディアによる民藝の普及活動への協力

- ・機関誌である雑誌『民藝』への編集協力

- ・外部誌への情報提供や監修協力

*『別冊太陽 柳宗悦の世界（改訂版）』（平凡社、2021年10月刊行予定）

*『もっと知りたい 柳宗悦と民藝運動』（東京美術、2021年9月刊行予定）

- ・テレビ番組の制作協力

*新日曜美術館

（NHKが主催する東京国立近代美術館での「柳宗悦と民藝の100年」に関連した番組制作を、NHKプロモーション側から打診中）

3) 各地美術館や学校及び関係団体への講師・講演協力

- ・日本民藝協会主催の催事及び他館（美術館等）への講師・講演を通し、民藝運動及び日本民藝館の活動をアピールし普及・推進させる。

4) 博物館実習の受け入れによる現場教育の機会提供

- ・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し現場における知識・技能の習得を支援し、将来の美術館活動を担う人材の育成に協力する。

実習生数：約15人程度 実習期間：10日間（講義4日、実務実習6日）

*但し、社会情勢に合わせ一部リモートによる対応も検討

5) 「日本民藝館友の会・維持会及びキャンパスメンバーズ」会員への情報提供と入会の案内

- ・会員や一般を対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

- ・会員に情報「日本民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

6) 小学校を中心とする学校との連携による美術館教育などの教育普及活動

- ・民藝の普及活動の一環として、小学生を主対象とした鑑賞教室などの企画・運営を行う。

7) 関連団体との連携

- ・他館との情報交換や近隣施設との活動の連携に努め、展覧会資料の配布などでPR強化を図る。

- ・他の美術館や関連団体との連携や展覧会の充実化を図る。

8) 国際文化交流に関する事業

- ・海外からの調査依頼や展覧会企画への協力を実施する。
 - *「スペインにおける民藝運動についての調査協力」
(国立カタルーニャ美術館にて 2021 年春に濱田庄司とカタルーニャの陶芸を中心とした展覧会を開催)
 - *「スウェーデン国立陶芸美術との共同調査を継続審議」
 - *「スウェーデンのグスタフ 6 世アドルフ基金の研究者との陶芸家 W・コーゲについての調査協力」
 - *「韓国国外文化財団の研究支援による東京藝術大学との慶州・石窟庵調査」
 - *「益子町で企画されているリーチポタリー開窯 100 年記念展への協力」

3. 民藝に携わる工人の育成及び協力・支援に関する事業

- ・日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)
 - ① 出展公募：新作工芸品の制作者および協力制作者を対象に作品を公募し、その選考を通して出品者を顕彰、併せて講評会を実施して、製作者の育成支援を促進する。
 - ② 入選作の展示公開と即売
選考された優秀な作品を大展示室で展示公開する。また、入選作品の即売を通して作り手を支援し、世の中に優れた新作工芸品を普及させる。

4. 広報活動・運営管理の向上に関する事業など

1) 広報活動

- ・Web サイト及び駅貼り有料ポスターによる展覧会情報の発信
展覧会や各種催事の情報をホームページやソーシャルメディアを通して発信するとともに、EC サイト（インターネット上で商品販売）の活用を進めていく。
- ・マスメディアの情報による集客強化
館の展覧会・催事について、TV、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット情報誌などの多方面にわたるマスコミ取材に積極的に対応し、情報提供の周知化を継続的に進める。
- ・プレス及び関係者向けの情報発信の実施
夏と秋の企画展に際し、主にプレス関係者に展覧会の情報提供に努める。
- ・弊館の歴史やコレクションを紹介する映像資料の視聴提供
日本民藝館を紹介する館制作映像（3 作）を展覧会開催期間に合わせ館内で公開する。

2) 施設の整備・安全

- ・防災管理点検に伴う法的整備（防災用品/非常食備蓄、避難通路の安全確保等）を実施する。
- ・新型コロナウイルス感染症の防止・予防対策の強化を継続的に行う。

3) 入館料の料金改定

- 一般者及び大高生入館料の料金改定を実施する。

以上